



南さつま市立 笠沙小学校

児童数 22人
学級数 4クラス



《テーマ》

互いの人権を尊重し、共に伸びようとする児童の育成

研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校は全校児童22人の小規模校である。異学年の交流は盛んに行われるが、人数が少ないことで、「勉強と言えば〇〇さん」のように関係性が固定化してしまうことが多い。もっと互いのよさを認め合い、より高め合うことができないかと考え、本テーマを設定した。

研究スケジュール

- 6月27日・・・教職員を対象にした人権同和教育研修会
- 12月9日・・・児童を対象にした人権教室（低・中・高学年それぞれで実施）
- 12月10日・・・全校人権集会
- 1月20日・・・保護者を対象にした人権教室

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- 年度当初に行われる「子ども会議」で、みんなが仲良く楽しく過ごすために『笠沙小にこにこ宣言』を決めている。その宣言は、児童集会の度にみんなで言って忘れないようにしている。
- 人権教室では、「人権って何だろう？」という子どもたちの疑問を人権同和教育課の講師から分かりやすく教えていただいた。
- 人権集会では、全校児童と一緒に歌ったり、人数集めゲームをしたり、体験的な活動を通して誰とでも仲良くするために大事なことを考える活動を行った。
- 保護者への人権教室では、自分と同じように相手を大事にする気持ちを育てるために、保護者の声掛けや見守りの大切さについて人権同和教育課の講師から教えていただいた。



【にこにこ宣言】



【人権集会】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの姿、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 一人一人の顔が違うように得意なこと・苦手なことがあることを子どもたちが理解し、できないことを励まし合うようになった。
- 職員研修や保護者への人権教室等を行うことで、人権に対する意識をもって、子どもたちへの指導や声かけができるようになった。
- 今後、自分や相手のよさを見つけ認め合う心を育てるために、「笠沙小よいことみつけ」に取り組んでいきたい。